

22. 男女共同参画について

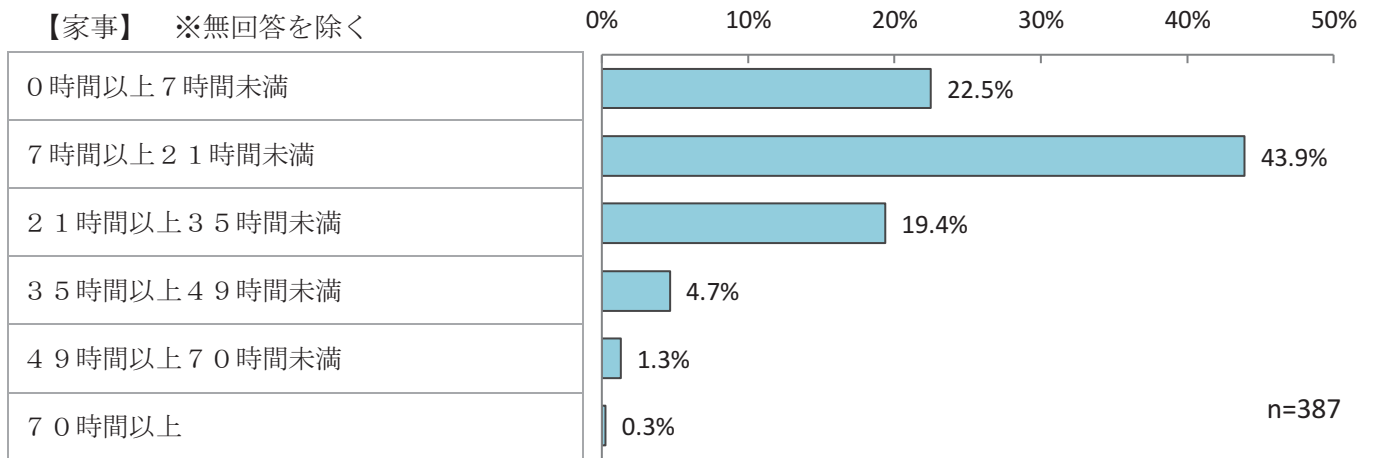
(1) 家事・育児・介護それぞれに費やした時間

※月曜日から土曜日は1日3時間程度（3時間×6日＝18時間）、日曜日は1日2時間程度（2時間×1日＝2時間）を費やしている場合、回答は「20時間」となります。また、育児、介護について、対象者がいない場合は、「対象者なし」に○を付けてください。

◇ 「7時間以上21時間未満」が4割半ば

問78	1週間の生活の中で、家事・育児・介護におおよそどの程度の時間を費やしたかお答えください。	
	【家事】	n=387
1	0時間以上7時間未満	22.5%
2	7時間以上21時間未満	43.9%
3	21時間以上35時間未満	19.4%
4	35時間以上49時間未満	4.7%
5	49時間以上70時間未満	1.3%
6	70時間以上	0.3%
	(無回答)	8.0%

<図IV-22-1>全体



家事に費やした時間については、「7時間以上21時間未満」が43.9%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が22.5%、「21時間以上35時間未満」が19.4%と続いている。（図IV-22-1）

<参考>

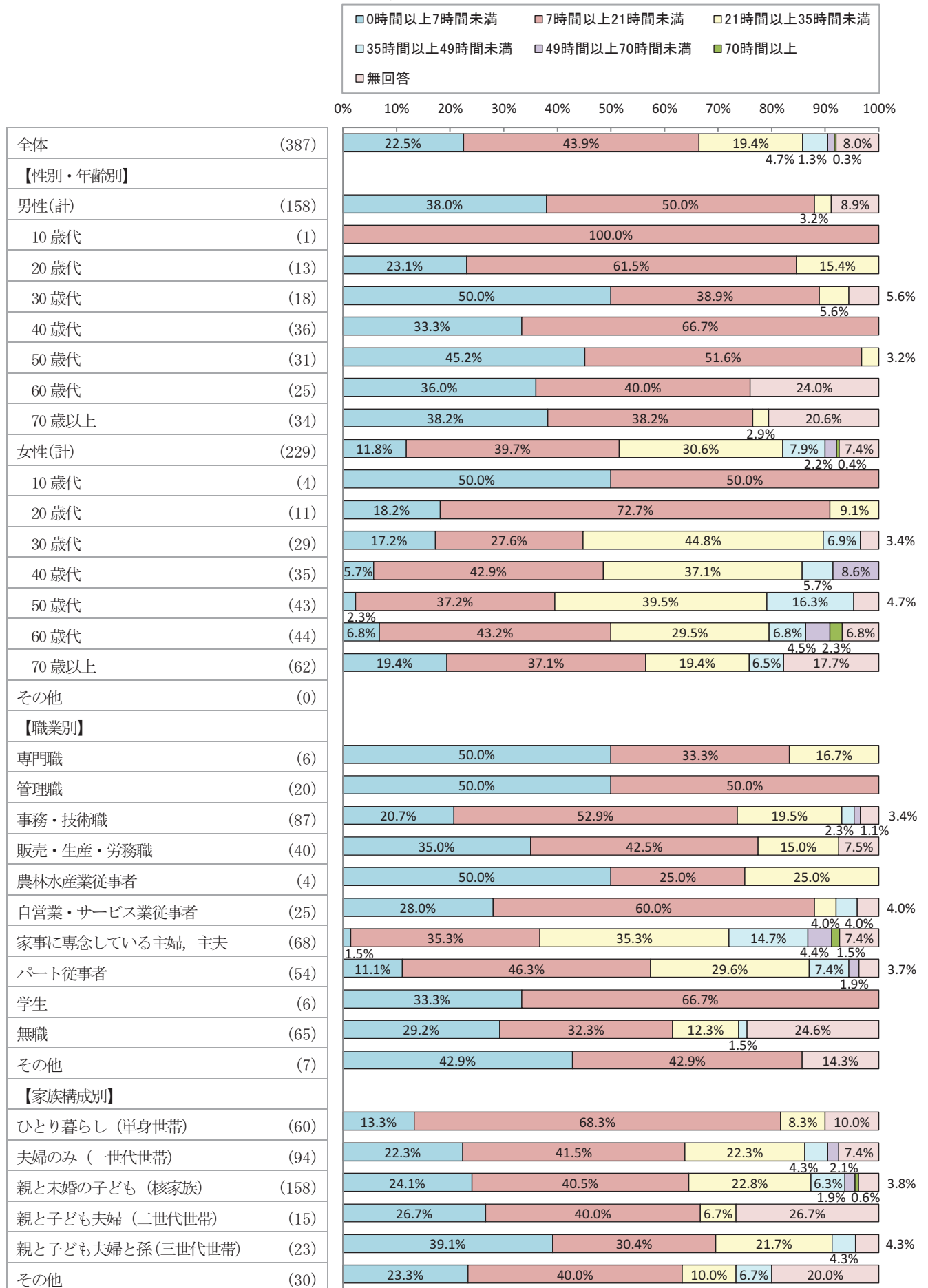
性別・年齢別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/20歳代>が72.7%であった。「0時間以上7時間未満」は<男性/30歳代>と<女性/10歳代>がいずれも50.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が45.2%であった。「21時間以上35時間未満」は<女性/30歳代>が44.8%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が39.5%であった。（図IV-22-2）

職業別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<学生>が66.7%で最も高く、次いで<自営業・サービス業従事者>が60.0%であった。「0時間以上7時間未満」は<専門職>と<管理職>と<農林水産業従事者>がいずれも50.0%で最も高く、次いで<その他>を除くと<販売・生産・労務職>が35.0%であった。

「21時間以上35時間未満」は<家事に専念している主婦、主夫>が35.3%で最も高く、次いで<パート従事者>が29.6%であった。（図IV-22-2）

家族構成別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<ひとり暮らし（単身世帯）>が68.3%で最も高かった。「0時間以上7時間未満」は<親と子ども夫婦と孫（三世帯世帯）>が39.1%で最も高かった。「21時間以上35時間未満」は<親と未婚の子ども（核家族）>が22.8%で最も高かった。（図IV-22-2）

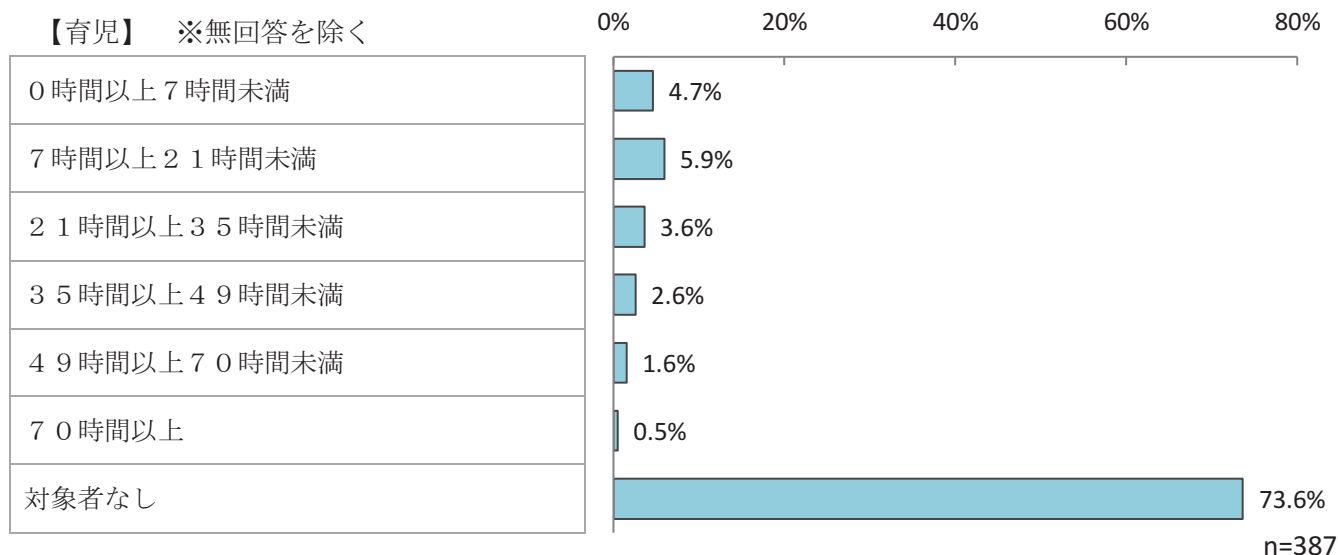
<図IV-22-2>性別・年齢別／職業別／家族構成別



【育児】

		n=387
1	0時間以上7時間未満	4.7%
2	7時間以上21時間未満	5.9%
3	21時間以上35時間未満	3.6%
4	35時間以上49時間未満	2.6%
5	49時間以上70時間未満	1.6%
6	70時間以上	0.5%
7	対象者なし	73.6%
	(無回答)	7.5%

<図IV-22-3>全体



育児に費やした時間については、「対象者なし」が73.6%で最も高く、次いで「7時間以上21時間未満」が5.9%、「0時間以上7時間未満」が4.7%と続いている。(図IV-22-3)

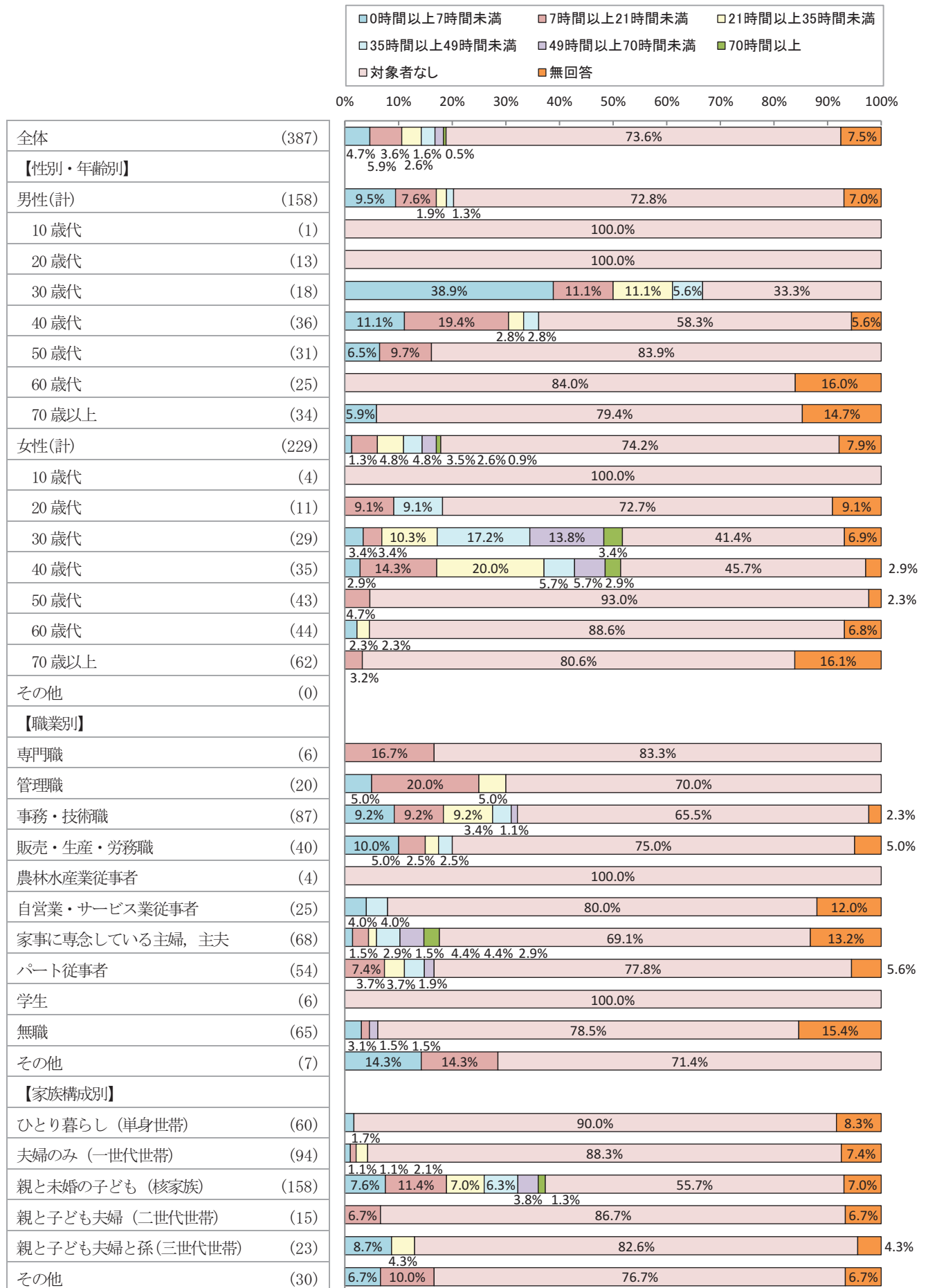
<参考>

性別・年齢別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<男性/40歳代>が19.4%で最も高く、次いで<女性/40歳代>が14.3%であった。(図IV-22-4)

職業別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<管理職>が20.0%で最も高く、次いで<専門職>が16.7%であった。(図IV-22-4)

家族構成別で見ると、「7時間以上21時間未満」は<親と未婚の子ども(核家族)>が11.4%で最も高く、次いで<その他>を除くと<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が6.7%であった。(図IV-22-4)

<図IV-22-4>性別・年齢別／職業別／家族構成別

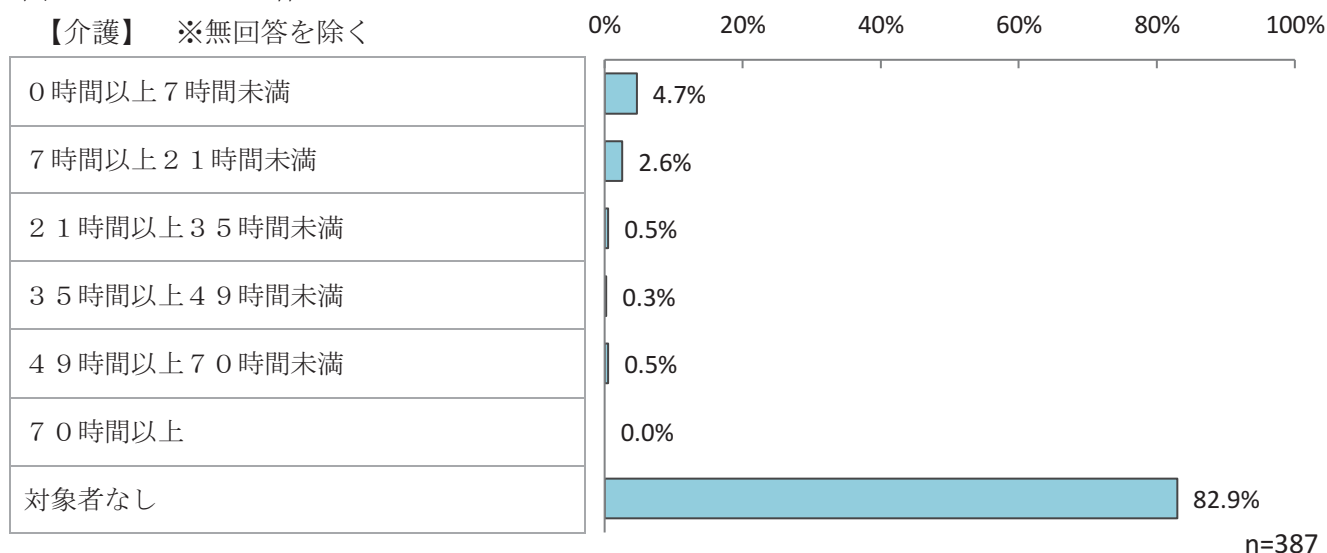


【介護】

		n=387
1	0時間以上7時間未満	4.7%
2	7時間以上21時間未満	2.6%
3	21時間以上35時間未満	0.5%
4	35時間以上49時間未満	0.3%
5	49時間以上70時間未満	0.5%
6	70時間以上	0.0%
7	対象者なし	82.9%
	(無回答)	8.5%

<図IV-22-5>全体

【介護】 ※無回答を除く



介護に費やした時間については、「対象者なし」が82.9%で最も高く、次いで「0時間以上7時間未満」が4.7%、「7時間以上21時間未満」が2.6%と続いている。(図IV-22-5)

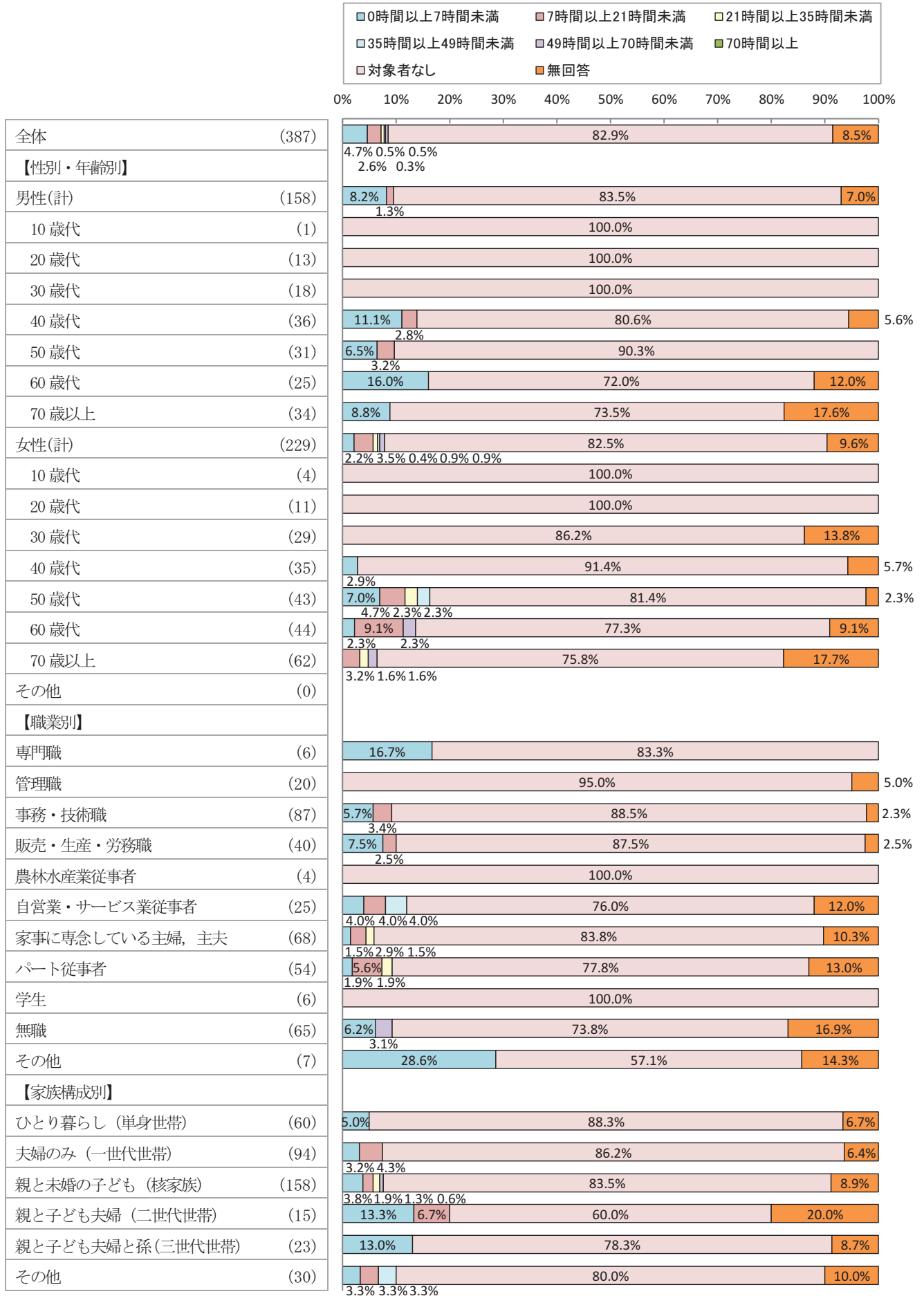
<参考>

性別・年齢別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<男性/60歳代>が16.0%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が11.1%と続いている。(図IV-22-6)

職業別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<その他>を除くと<専門職>が16.7%で最も高く、次いで<販売・生産・労務職>が7.5%であった。(図IV-22-6)

家族構成別で見ると、「0時間以上7時間未満」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が13.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が13.0%であった。(図IV-22-6)

<図IV-22-6>性別・年齢別／職業別／家族構成別

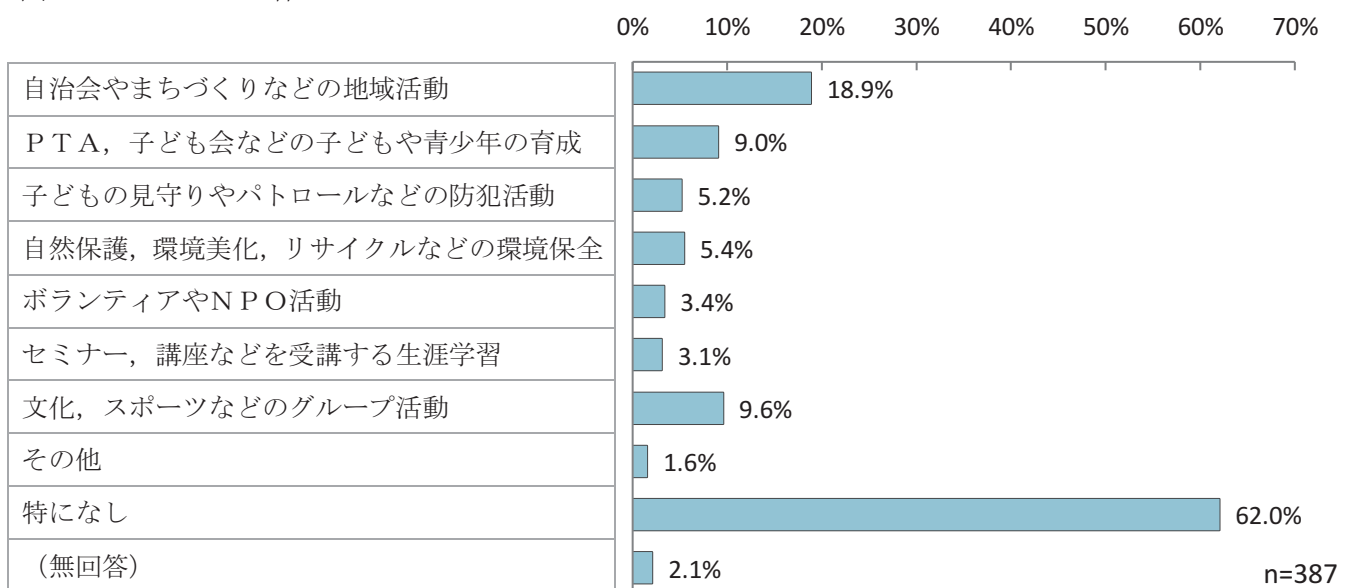


(2) 社会的な活動の実施状況

◇ 「特になし」が6割強

問79	現在、地域などでどのような社会的な活動を行っていますか。	(〇はいくつでも)
		n=387
1	自治会やまちづくりなどの地域活動	18.9%
2	P T A, 子ども会などの子どもや青少年の育成	9.0%
3	子どもの見守りやパトロールなどの防犯活動	5.2%
4	自然保護, 環境美化, リサイクルなどの環境保全	5.4%
5	ボランティアやN P O活動	3.4%
6	セミナー, 講座などを受講する生涯学習	3.1%
7	文化, スポーツなどのグループ活動	9.6%
8	その他	1.6%
9	特になし	62.0%
	(無回答)	2.1%

<図IV-22-7>全体



社会的な活動の実施状況については、「特になし」が62.0%で最も高く、次いで「自治会やまちづくりなどの地域活動」が18.9%、「文化, スポーツなどのグループ活動」が9.6%と続いている。(図IV-22-7)

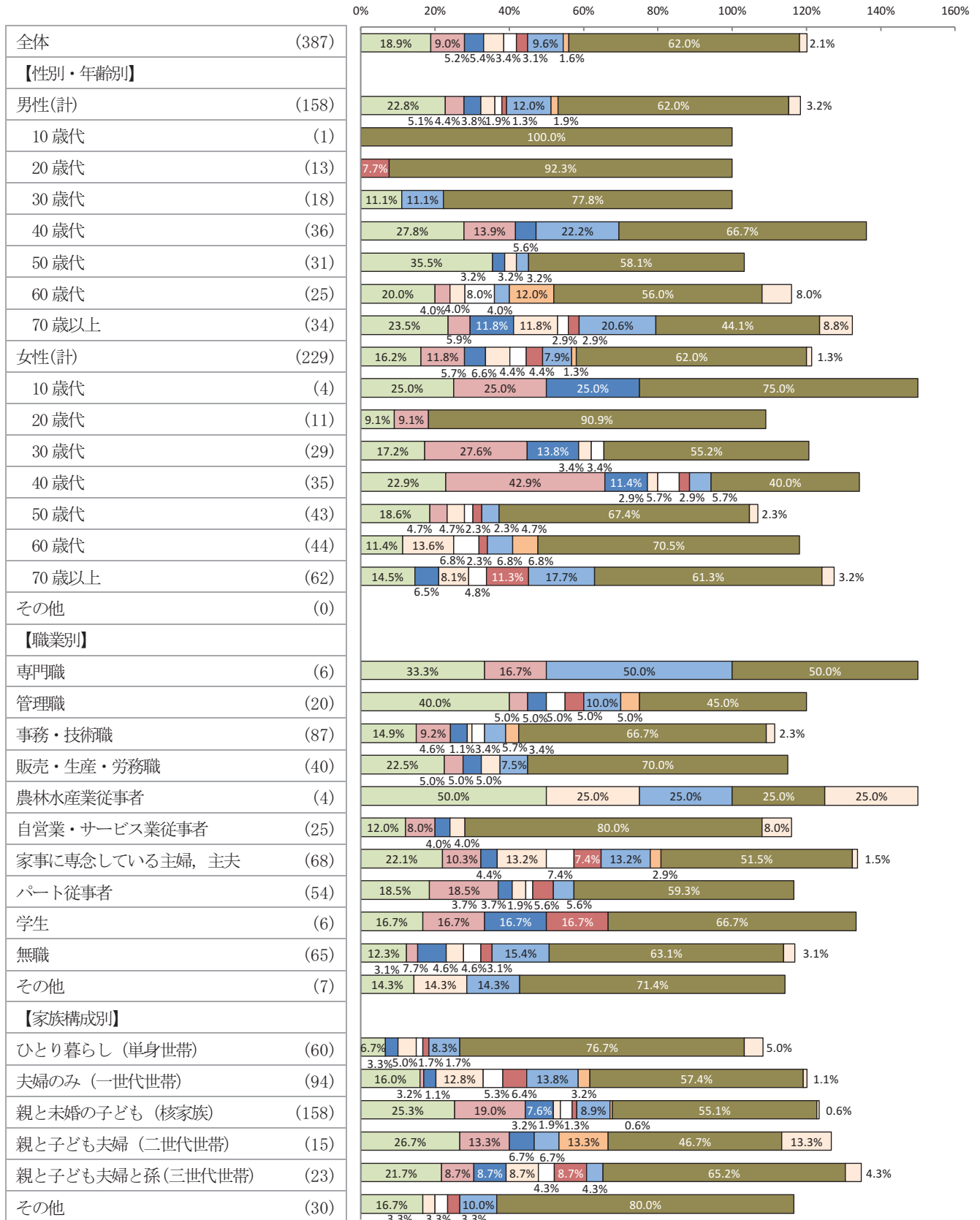
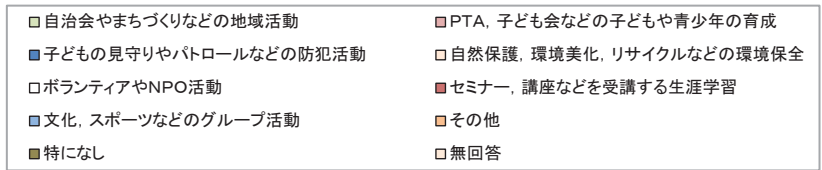
<参考>

性別・年齢別で見ると、「特になし」は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/20歳代>が92.3%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<男性/50歳代>が35.5%で最も高く、次いで<男性/40歳代>が27.8%であった。(図IV-22-8)

職業別で見ると、「特になし」は<自営業・サービス業従事者>が80.0%で最も高く、次いで<その他>を除くと<販売・生産・労務職>が70.0%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<農林水産業従事者>が50.0%で最も高く、次いで<管理職>が40.0%であった。(図IV-22-8)

家族構成別で見ると、「特になし」は<その他>を除くと<ひとり暮らし(単身世帯)>が76.7%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が65.2%であった。「自治会やまちづくりなどの地域活動」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が26.7%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が25.3%であった。(図IV-22-8)

<図IV-22-8>性別・年齢別／職業別／家族構成別



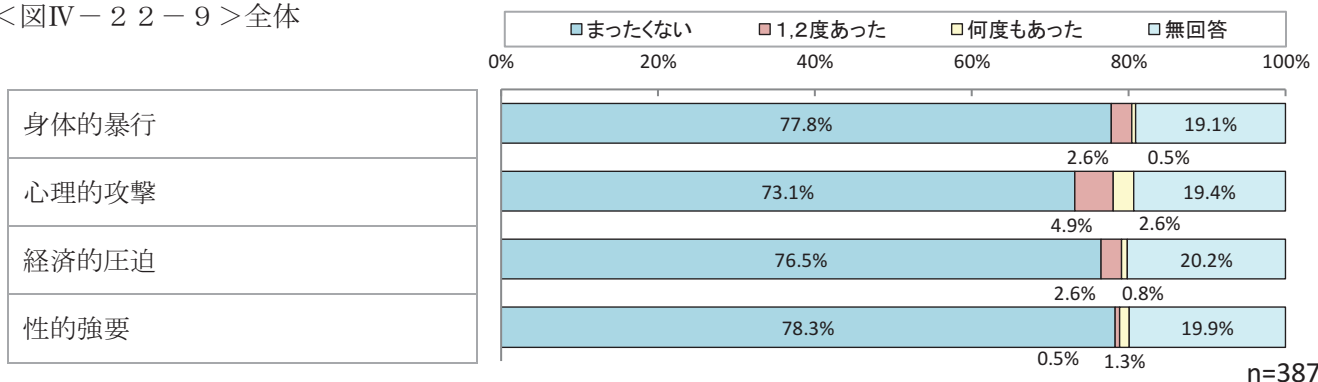
(3) 配偶者から暴力を受けた経験

◇ 「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】は、「心理的攻撃」が1割弱

問80 過去1年間に配偶者から次のような暴力を受けたことがありますか。
 (それぞれ項目ごとに○は1つ)
 n=387

	項目	まったく ない	1, 2度 あった	何ども あった	無回答
1	身体的暴行 (例えば、なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)	77.8%	2.6%	0.5%	19.1%
2	心理的攻撃 (例えば、人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫)	73.1%	4.9%	2.6%	19.4%
3	経済的圧迫 (例えば、生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど)	76.5%	2.6%	0.8%	20.2%
4	性的強要 (例えば、嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	78.3%	0.5%	1.3%	19.9%

<図IV-22-9>全体



配偶者から暴力を受けた経験については、「何どもあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】の割合は、「心理的攻撃」が7.5%で最も高く、次いで「経済的圧迫」が3.4%、「身体的暴行」が3.1%、「性的強要」が1.8%であった。(図IV-22-9)

<参考>

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別で見ると【経験あり(計)】が最も高かったのは、「身体的暴行」は<男性/30歳代>が11.1%、「心理的攻撃」は<女性/20歳代>が18.2%、「経済的圧迫」は<女性/20歳代>が9.1%、「性的強要」は<女性/20歳代>が9.1%であった。(図IV-22-10~図IV-22-13)

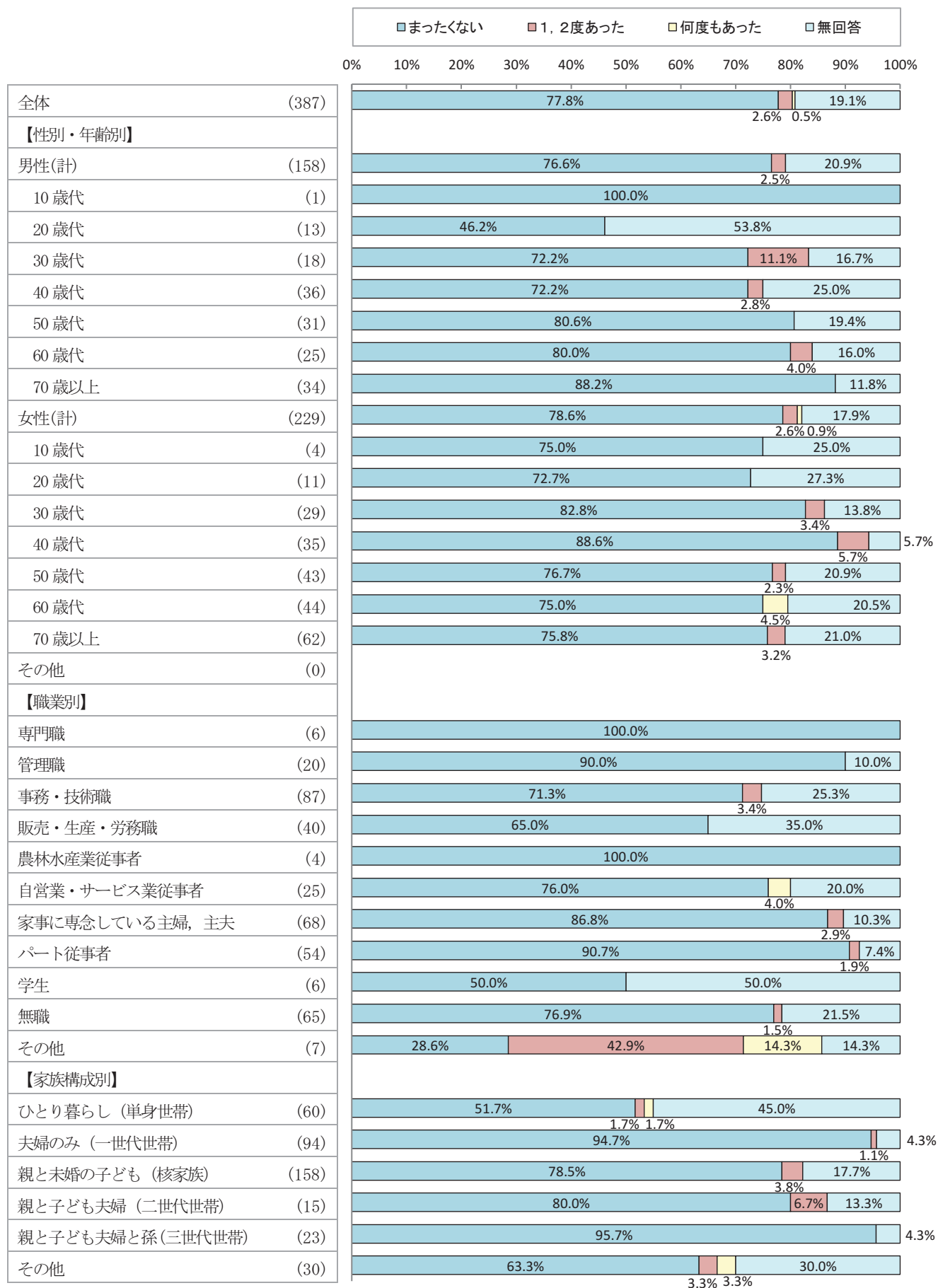
暴力を受けたことがある(総合)について性別で見ると、【経験あり(計)】は<男性>が2.4%、<女性>が5.0%で<女性>が高かった。性別・年齢別で見ると、【経験あり(計)】は<女性/20歳代>が9.0%で最も高かった。(図IV-22-14 総合)

暴力を受けたことがある(総合)について職業別で見ると、【経験あり(計)】は<その他>を除くと<パート従事者>が5.1%で最も高かった。(図IV-22-14 総合)

暴力を受けたことがある(総合)について家族構成別で見ると、【経験あり(計)】は<親と未婚の子ども(核家族)>が4.9%で最も高かった。(図IV-22-14 総合)

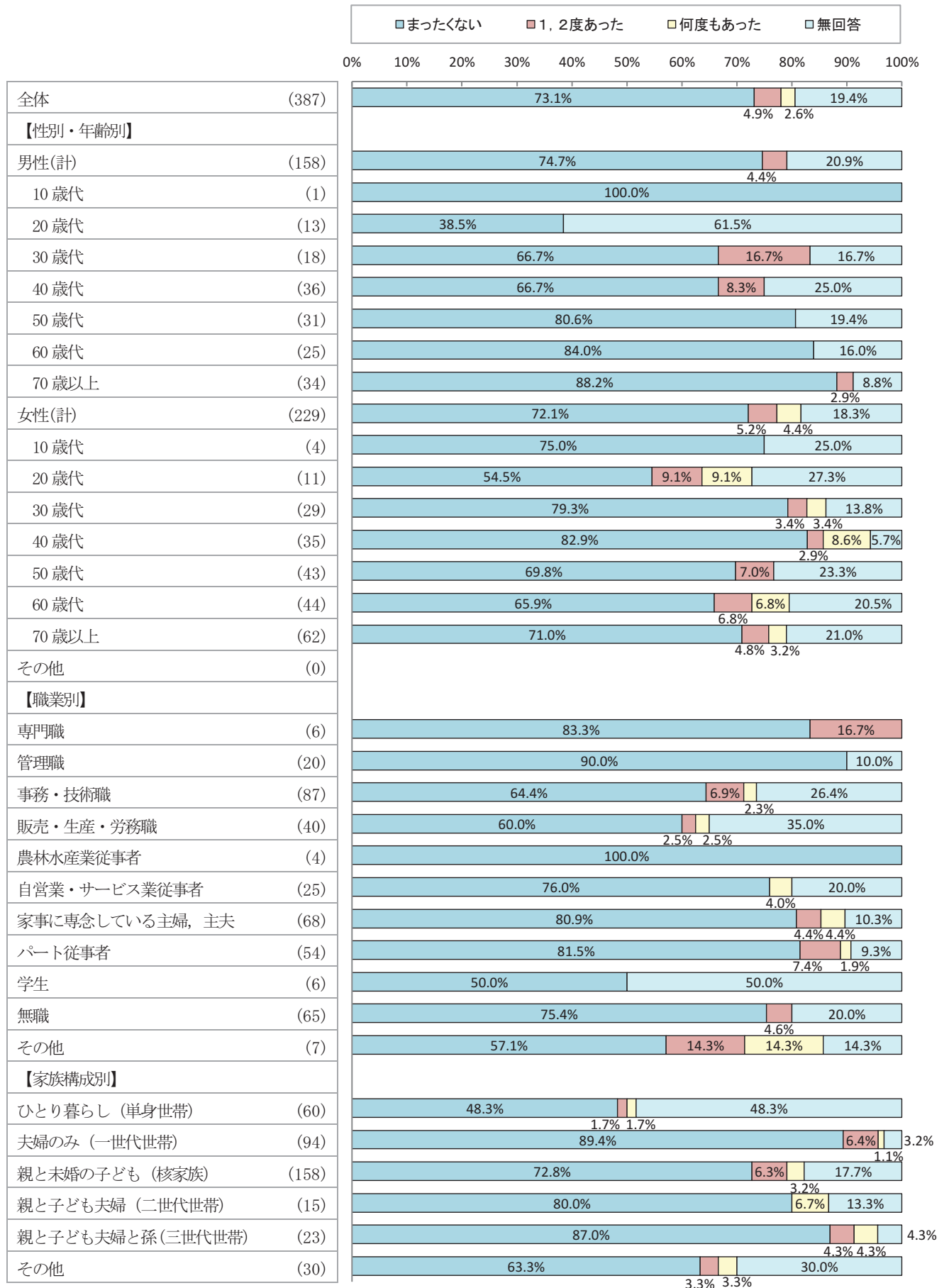
①身体的暴行

<図IV-22-10>性別・年齢別／職業別／家族構成別



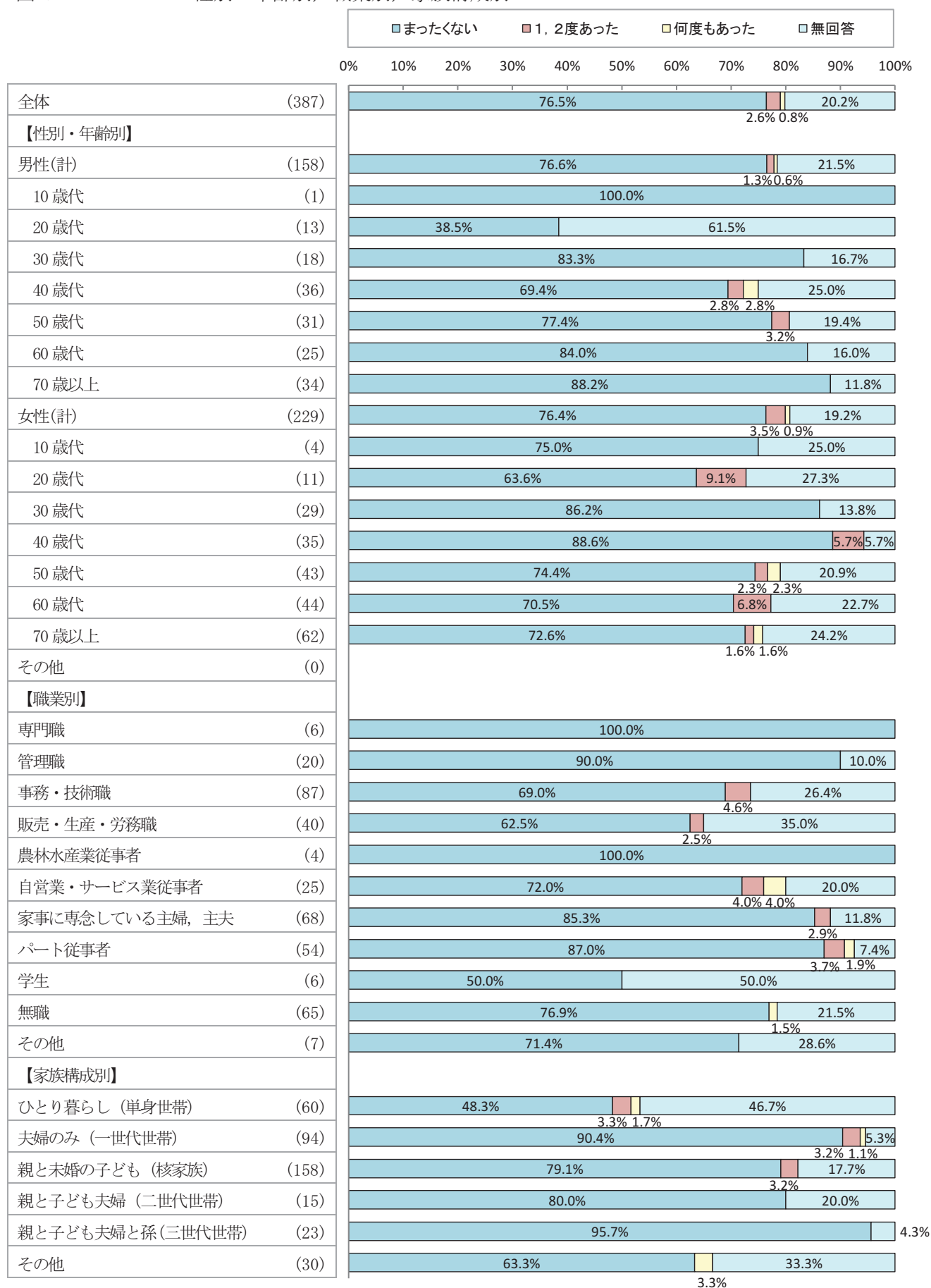
②心理的攻撃

<図IV-22-11>性別・年齢別／職業別／家族構成別



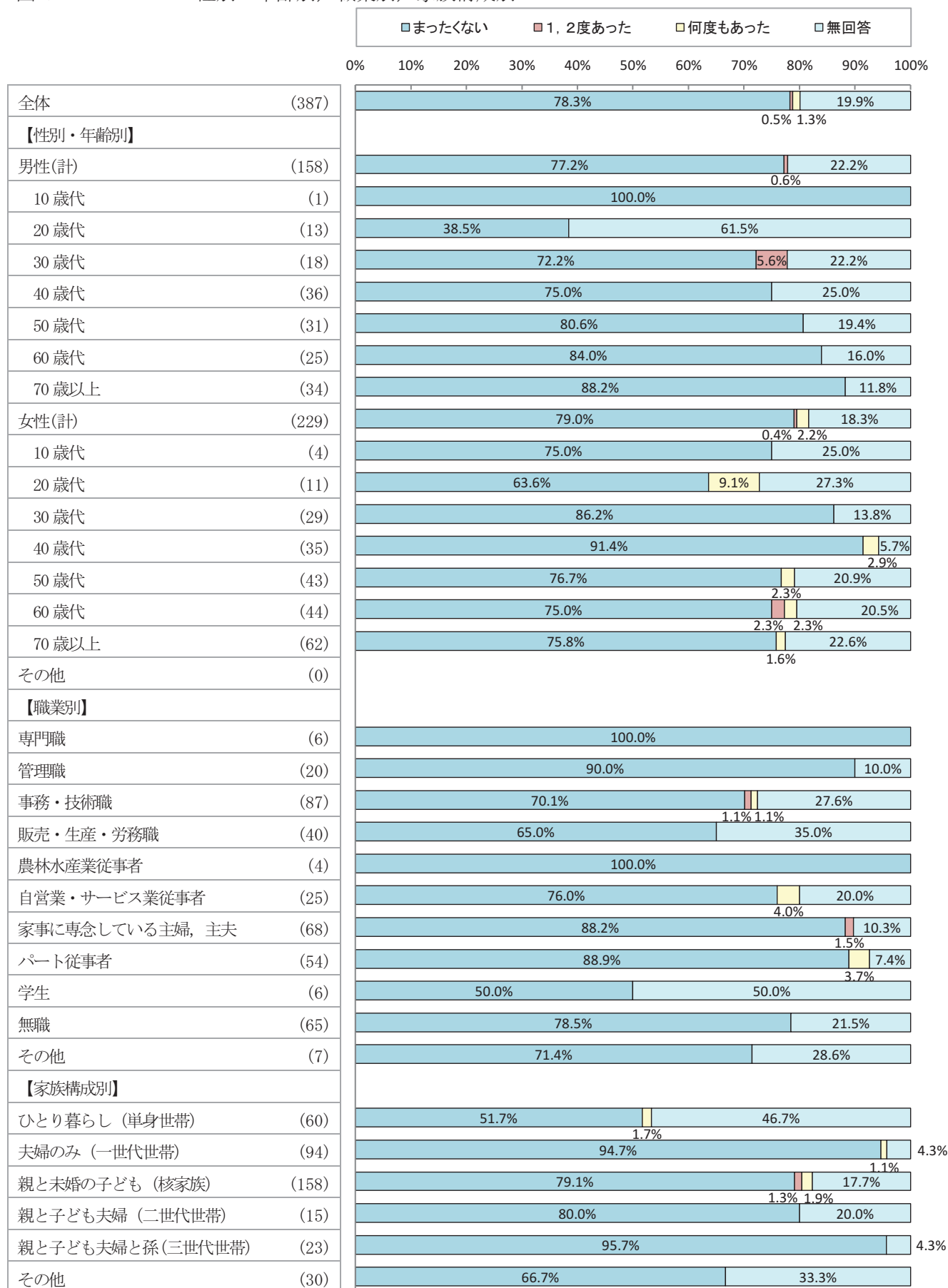
③経済的圧迫

<図IV-22-12>性別・年齢別／職業別／家族構成別



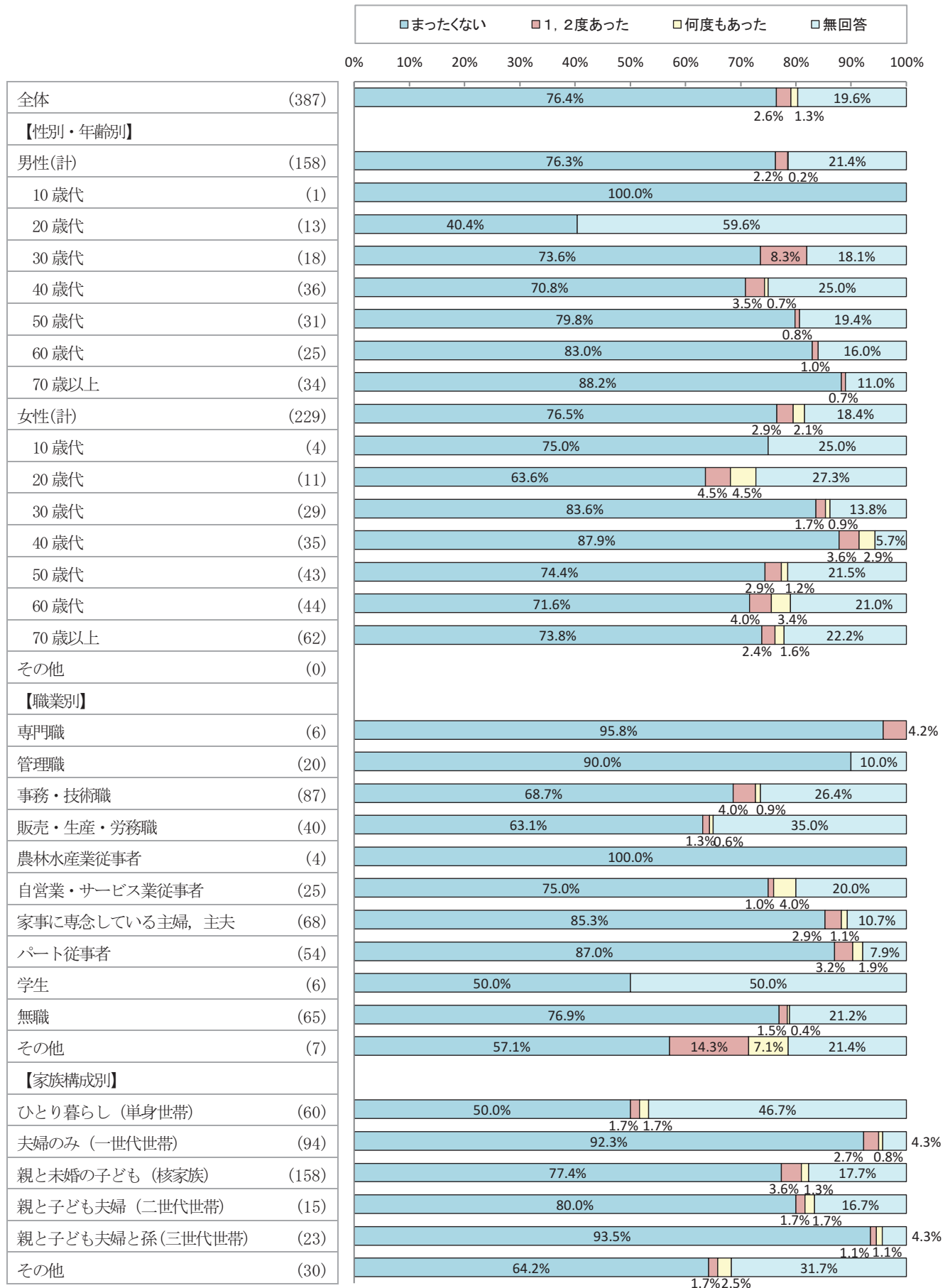
④性的強要

<図IV-22-13>性別・年齢別／職業別／家族構成別



●暴力を受けたことがある（総合）

<図IV-22-14>性別・年齢別／職業別／家族構成別

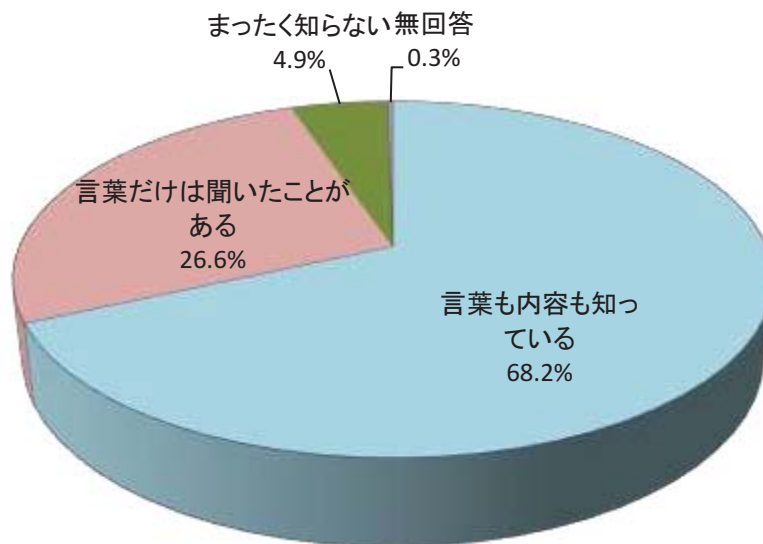


(4) LGBT (エルジービーティー) の認知度

◇ 「言葉も内容も知っている」が7割弱

問81 LGBT (エルジービーティー) ※という言葉について聞いたことがありますか。		
※L (レズビアン・女性同性愛者), G (ゲイ・男性同性愛者), B (バイセクシャル・両性愛者), T (トランスジェンダー・からだところの性が一致せず, 性別に違和感を覚える人) の4つの単語の頭文字をとった言葉で, 性的マイノリティ (性的少数者) を表す総称のひとつ		
		(○は1つ)
		n=387
1	言葉も内容も知っている	68.2%
2	言葉だけは聞いたことがある	26.6%
3	まったく知らない	4.9%
	(無回答)	0.3%

<図IV-22-15>全体



n=387

LGBT (エルジービーティー) の認知度については、「言葉も内容も知っている」が68.2%で最も高く、次いで「言葉だけは聞いたことがある」が26.6%、「まったく知らない」が4.9%であった。(図IV-22-15)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<男性/10歳代>と<女性/10歳代>がいずれも100.0%で最も高かった。「言葉だけは聞いたことがある」は<女性/70歳以上>が45.2%で最も高く、次いで<男性/60歳代>が36.0%であった。(図IV-22-16)

職業別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<専門職>と<学生>がいずれも100.0%で最も高く、次いで<事務・技術職>が88.5%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<農林水産業従事者>が50.0%で最も高く、次いで<無職>が40.0%であった。(図IV-22-16)

家族構成別で見ると、「言葉も内容も知っている」は<親と未婚の子ども(核家族)>が77.2%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世代世帯)>が74.5%であった。「言葉だけは聞いたことがある」は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>が73.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が39.1%であった。(図IV-22-16)

<図IV-22-16>性別・年齢別／職業別／家族構成別

